

第 3389 図

さへらそう科



第 3390 図

さへらそう科



第 3391 図

さへらそう科



りゅうぎゅうこざくら

*Androsace umbellata* Merrill  
(= *A. saxifragaefolia* Bunge)

我国の西部に産し東南アジアに分布する1-2年生の小草本で、全体に立った軟毛がある。葉は全部根生で長い柄があり、卵円形で基は浅い心形乃至広楔形をなし、縁にやや3角形の鋸歯があり、小形で長さ5-15mm。早春、高さ5-12cmの花茎を出し、頂に2-10花を繖状につける。花梗は細そく散開し長さ1.5-4cm、基に卵状披針形の苞がある。萼は深く5裂し、裂片は卵形で鋭頭である。花は白色径5-7mm、筒部は短く、裂片は5個で楕円形である。5雄蕊、1雌蕊。萼片は果時少し大きくなって星状に平開し、中央に径3-4mm球形の白っぽい菊をつけ、上部で裂開する。

えぞこざくら

*Primula cuneifolia* Ledeb.

北海道や東亜北部、アラスカの高山の湿った草地に生える多年生の小草本である。葉は倒卵形で基は細まって柄となり、下部を除いて縁にはあらい鋸歯があり、多肉平滑で粉もなく、長さ2-5cm巾8-20mmある。7-8月、高さ5-15cmの1花茎を出し、1-5個の紫紅色の花を開く。萼は長さ5-7mm、5中裂し裂片は披針形でとがっている。花冠は径2cm内外、喉部は黄色、裂片は倒心形で2中裂する。蒴果は広卵形で短い。本州高山にあるハクサンコザクラと比べて葉の鋸歯が深く単一で二重にならないので区別できる。和名は蝦夷(エゾ)即ち北海道地方に産する小形の桜草の意味である。

みちのくこざくら

*Primula cuneifolia* Ledeb.  
var. *heterodonta* Makino

青森県岩木山の高山帯に産する多年生の小草本である。ハクサンコザクラに非常に近いが全体が壮大で各部が大き。葉は倒卵形で下部は細まって柄となり、中部より先には不ぞろいではしばしば二重になった鋸歯があり、長さ4-9cm巾1.5-3cmある。7-8月、高さ8-15cmの花茎をだし、3-15個の紫紅色の花を繖形につける。花梗は長さ10mm内外、萼は長さ4-6mmで5中裂する。花冠は大きく径2-3cm、裂片は深く2裂している。5雄蕊、1雌蕊。和名は陸奥(ミチノク)に産する小形の桜草の意味である。

ゆうばりこざくら

*Primula yuparensis* Takeda

北海道夕張岳の高山帯に産する多年生の小草本である。葉は広例披針形で先はやや短く尖り、下部は楔状に段々細まり、縁には目立たない細かい鋸歯があり、長さ1-3cm、巾5-15mm、下面にはうすく白粉がある。7月、高さ4-10cmの花茎をだし、上部には白粉をつけ、頂に1-3花を開く。小苞は狭披針形で長さ5mm内外、基はふくらんでいる。萼は5中裂し、少し白粉を被る。花は淡紅色で径12mm内外、筒部は萼よりはるかに長く、裂片は倒卵形で先は浅く2裂している。蒴果は萼より長く6-9mmある。ユキワリソウに似ているが、葉の鋸歯は細かく、葉下面や茎・苞についている粉は白色で、花数は少く、小苞の基はふくらむ。和名は夕張岳に産する小形の桜草の意味である。

かっこそう

*Primula kisoana* Miquel

本州・四国・九州の山地稀産の多年生草本である。葉・茎から萼に至るまで立った軟い白毛が密生しているので似た他の種類から区別できる。葉は腎円形で心脚、径3-7cmで掌状に浅く裂け、更に大小不同の鋸歯があり、上面で脈が凹み縮んでいる。春、高さ10-15cmの花茎をだし、頂に紫紅色の美花を一二段繖状につける。萼は筒状で長さ1cm内外、半ばまで5裂している。花冠は径2-3cm、筒部は細長く長さ1.5-2cm、上部には毛を散生し、裂片は平開しやや狭い倒卵形で先は2裂している。株によって雌雄蕊の位置、長さが異っている。

ちちぶいわざくら

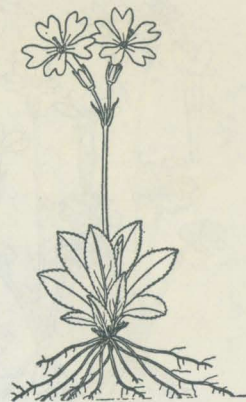
*Primula rhodotricha* Nakai et

*F. Maekawa*

秩父武甲山の岩場に生ずる多年生の小草本である。コイワザクラに似ているが通常各部はより大形となり、葉柄や花茎下部の毛は暗紅色をおびている。葉は卵円形で長さ2-4cm、きわめて浅く掌状に裂け、脈は上面で凹んでいる。5月上旬に紫紅色の花を開く。萼は長さ5-8mm、緑色無毛で深く5裂し、裂片は披針形である。花冠は径2-3.5cm、筒部は長く、長さ14-18mm、裂片は倒心形で長さ8-15mm、先は浅く2裂している。株によって雌雄蕊の位置、長さの異なる花を開き、花筒の形がちがっている。和名は秩父の岩上に生ずる桜草の意味である。

第 3392 図

さへらそう科



第 3393 図

さくらそう科



第 3394 図

さくらそう科

